

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 20 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 6 月 25 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	オレゴン大学(日本語名) University of Oregon(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～3 月中旬 3 学期: 4 月上旬～6 月中旬 4 学期:
学生数	24,262 人
創立年	1876 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	15000	円	食費含む
食費		円	
図書費		円	
学用品費	300	円	
携帯・インターネット費	540	円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	5000	円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	3000	85,000 円	形態: 明治大学、オレゴン大学両方加入
渡航旅費		200,000 円	入国、帰国合計
ビザ申請費		40,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	23840 (= 160 円)	325000 円	
総計(A+B) ※円	4,139,400 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：ユージーン 経由地：サンフランシスコ

復路 出発地：カリフォルニア 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ZIP AIR、ユナイテッド航空 料金：100,000 円

復路 航空会社：ANA 料金：130,000 円 ∴合計：230,000 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☐ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Riley Hall) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の寮を探していたため、留学先大学の Housing サイトを通して探した。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮はミールプランがついてくるため、自炊をする必要がない点で楽ではあったが、トイレシャワーは階で共用だったため不便だった。2 人部屋がほとんどだが 1 人部屋もいくつかあった。1 人の時間がないとダメな人は頑張って 1 人部屋を勝ち取るべき。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 大学内の病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

安全な街だったため、事件はそこまで多くなかったが、何かあった際は大学からメールが送られてくる。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学と寮の中では問題なく Wi-Fi が使えた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の口座は作らず、クレジットカードと日本で換金していた現金を使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

留学後半は就活や TOEIC の勉強を始めたため、そういった参考書は事前に用意しておくが良い。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Business		ビジネス入門
科目設置学部・研究科	BA	
履修期間	Fall	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回	
担当教授	Tina Boscha	
授業内容	ビジネスを体系的に学ぶ。	
試験・課題等	毎週の課題とクイズ、中間×2、期末テスト	
感想を自由記入	経済からマーケティングまで幅広く学べた。教授がとても明るく授業も面白かった。その後経済学の授業もとったので、役に立った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to International issues		国際問題
科目設置学部・研究科	GLBL	
履修期間	Fall	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture+Discussion(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80+50 分が 2+1 回	
担当教授	Galen Martin	
授業内容	ジェノサイドや世界保健など毎週異なる国際問題を学ぶ。ディスカッションではその週のピックやリーディングに基づいて議論をする。	
試験・課題等	エッセイ 1 本、クイズ 3 回	
感想を自由記入	内容自体は面白く学びになった。リーディングが多く、クイズの時にそれらを復習するのが大変だった。101 の授業なので、幅広く色々なピックについて理解を深められてよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Economic Issues		現代経済問題
科目設置学部・研究科	EC	
履修期間	Fall	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture+オンライン上のディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Mike Urbancic	
授業内容	経済学がいかに関わりを持っているのかを学ぶ。社会の中の経済学を読み解くことで社会で機能するメカニズムを理解する。	
試験・課題等	毎週のディスカッションポスト、中間+期末テスト	
感想を自由記入	経済学の基礎の基礎という感じの授業であった。教授の説明がわかりやすいため授業を理解するのはあまり難しくない。毎週の課題であるディスカッションポストが後半になるにつれて難しくなっていた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Economic Analysis Macro		マクロ経済学入門
科目設置学部・研究科	EC	
履修期間	Winter	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture+オンライン上のディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Mike Urbicic	
授業内容	社会科学の中心に触れながらマクロ経済を学ぶ	
試験・課題等	毎週のディスカッションポスト、中間+期末テスト	
感想を自由記入	200 番台ではあるが intro と授業名についていることもあり、比較的わかりやすい内容だった。後半になるにつれ難しくはなったが、授業をしっかり理解していれば問題なかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global political Economic		グローバリゼーション
科目設置学部・研究科	GLBL	
履修期間	Winter	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Ali Malik	
授業内容	グローバリゼーションと世界経済の仕組みやそれらが抱える課題を分析する	
試験・課題等	中間テスト×2、期末テスト	
感想を自由記入	リーディングの量が非常に多く、毎週それらを読み切るのに時間がかかった。内容自体は興味深かったが、授業は教授が一方向的に話しているだけで、内容的にもリーディングと重複する部分が多かったので勿体無い気がした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Perspectives on International Development		国際開発
科目設置学部・研究科	GLBL	
履修期間	Winter	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture+Discussion(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80+50 分が 2+1 回	
担当教授	Haruka Nagao	
授業内容	国際開発の概念、理論や慣行を批評的な視点から分析する。	
試験・課題等	中間テスト、期末テスト	
感想を自由記入	一番面白かった授業だった。授業もわかりやすく、内容もとても興味深かった。はじめに体系的なセオリーなどを学んだ上で、各プラティスを分析するという形でクラスの構造もよかった。ディスカッションのクラスでは架空の国の開発政策を考えるというもので難しかったが、こちらも GE がとても優しく乗り越えることができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to American law		アメリカ法
科目設置学部・研究科	LAW	
履修期間	Spring	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回	
担当教授	John Inglish	
授業内容	アメリカの司法システムについて学び、加えていくつかの主要な実定法にも触れ理解を深める。	
試験・課題等	毎週のクイズ、中間テスト、期末テスト	
感想を自由記入	授業内で生徒からの質問やディスカッションも多く、予習をしていたから授業中においていけなかったという場面が多かったのでリーディングは非常に多かったが頑張っていた。クイズやテストはしっかり難しく、テスト勉強に苦戦した。内容は面白いので法律に興味があるのであれば取るべき。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Environmental Law and Policy		環境法と政策
科目設置学部・研究科	LAW	
履修期間	Spring	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回	
担当教授	Heather Merfeld	
授業内容	環境法の起源、全体の構造、そしてアメリカの政府と司法システムの機能を検証する。	
試験・課題等	毎週の小テスト、中間テスト、期末テスト	
感想を自由記入	連邦制という特徴を持つアメリカならではの環境問題の規制方法や、法の適用ルール、判例などが学べて面白かった。教授もとても気さくな方で、授業も熱心に行ってくれるため、楽しい授業だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Media Profession		メディア業界
科目設置学部・研究科	JCOM	
履修期間	Spring	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回	
担当教授	Hollie Smith	
授業内容	メディア業界の歴史とさまざまなメディア産業のトレンドを学ぶ	
試験・課題等	期末テスト、期末レポート	
感想を自由記入	ほぼ毎週さまざまな分野のゲストスピーカーがきてお話をしてくれた。メディア業界にはあまり関心が高かったが、毎週授業を受けているというより、講演会に参加している気分で、知らない世界について詳しく学べる機会になったので非常に面白かった。テストやレポートはあまりむずかしくないため単位は取りやすいと思う。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、四季報

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEFL の勉強
	8 月 ～ 9 月	TOEFL の勉強
	10 月 ～ 12 月	協定留学の選考に向けた準備、面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	協定留学決定
	4 月 ～ 7 月	ビザ取得、予防接種、必要書類提出等
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	留学期間
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	留学期間
	4 月 ～ 7 月	6 月末帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学期間中、自分を客観的に見つめる期間が多くなったように感じました。良い点、悪い点どちらも見えてきて自信がなくなりましたが、そのおかげで成長できたとも思います。

やはり留学は自分をあえて新しい環境に置くという絶好の成長の機会ですし、誰もがこの経験をすることができるわけではありません。それに、1 年、半年と長期で挑戦できるというのは一生の思い出になります。留学を決心している人もまだ悩んでいる人も、留学という機会は人生でそう何度も巡ってくるわけではないということを踏まえて、ぜひ挑戦する道を選んでほしいと思います。

応援しています！！

オレゴン大学は西岸海にある州の一つにあります。留学と言われてよく想像する生活とは異なり落ち着いた雰囲気のある街ではありますが、治安もよく、人もみんなとても優しいです。留学先探しをしている際、カリフォルニアなどの大学が目に入りがちだとは思いますが、実際に 1 年間住むとなるとオレゴン州は日本人との親和性が高いと思うのでとてもおすすめです。授業の質も生徒の質も高く、満足度は高いと思います。せっかく留学するなら全力で勉強頑張りたいと思う人であれば、合っているのかなと思います。

困ったことがあった時も、留学生担当の事務室の方やもしかすると教授など、親身になってくれる方が多い環境なので悩みや困っていることがあれば遠慮なく現地の大人に相談するのがベストだと思います！